

2月定例
県議会
(2/13~3/25)

いわて県民計画を全会一致で採択

9年連続 被災者の医療費・介護利用料等の免除を継続

- 皆さんと力を合わせて実現しました**
- 被災者の医療費・介護利用料等の免除措置を12月まで継続実施（9年連続）
 - 被災者の中長期的な見守り支援事業に630万円
 - 被災者の心のケア、子どもの心のケア対策に7億円
 - 仮設店舗の解体費助成期限を2020年3月まで延長
 - 盛岡市の南青山災害公営住宅に被災者支援センターを設置
 - 子どもの医療費助成の現物給付（窓口無料化）を8月から小学生まで拡充
 - 児童福祉司を3人、児童心理司を2人増員
 - 35人学級を小中学校の全学年で実施
 - いわての学び希望基金に8億9千万円
 - 部活動指導員配置に4600万円



予算特別委員会で質疑に立つ斉藤県議（3月18日）

2月定例県議会は、2月13日から3月25日まで開催されました。高田一郎県議が一般質問に立ち、「いわて県民計画案（次期総合計画）の知事に対する総括質疑と部長質疑に斉藤県議が、予算特別委員会の総括質疑には千田美津子県議が立ちました。

1兆円の公費投入で 高すぎる国保税は引き下げを
子どもの医療費助成の現物給付―小学生まで拡充 (8月~)

◇いわて県民計画に党の提言が反映される

「幸福をキーワードとした10年間の「いわて県民計画」が全会一致で採択されました。経済・社会のグローバル化の進展のもとで「所得格差の拡大」が進行していることを明記させるとともに、教育政策の主要な指標に掲げられていた学力テスト競争を一層激化させる指標は削除されました。部活動については「スポーツ医・科学の観点を踏まえた指導、体罰や生徒の人格を傷つける言動等の根絶」などが明記されました。仕事と家庭を両立できる環境をつくる具体的な推進方策指標として「年休取得率を現状の48.7%から2022年目標として75%に引き上げる」目標が掲げられました。

◇医療費・介護利用料等の免除継続
「コミュニケーション確立へ特別の対策を

被災者の命綱となっている医療費・介護保険利用料等の免除措置が、9年連続で12月まで継続実施されることになりました。災害公営住宅での孤独死が昨年18人と前年の3倍に急増。見守りとコミュニケーションの確立は緊急で重要な課題です。特別の対策と支援の強化、入居者名簿の提供、行政・民間支援者・自治会が一体となつた取り組みの強化を求めました。

◇高すぎる国保税は引き下げを
均等割の減免を求める

年収400万円の4人家族世帯では、協会けんぽ20万円に対し、盛岡市の国保税は40万円と2倍となっています。「所得が低く国保税が高い」という国保の構造的問題の解決にとって国の1兆円規模の公費投入が重要という認識では県当局と一致しました。また、子どもを含めた世帯人員にかかる均等割の問題を指摘。宮古市は、新年度から18歳までの均等割免除

辺野古埋め立て工事の中止を求める意見書を採択 10月からの消費税10%中止を求める請願は不採択に

3月25日の最終本会議で「辺野古埋め立て工事の中止を求める」請願意見書が賛成多数で採択されました（自民党・公明党・県民クラブの3人・創成いわての

3人・無所属の1人が反対。沖縄県以外では全国初となります。「被災者生活再建支援制度の抜本的な拡充を求める」請願意見書と「主要農作物の種子生産にか



10月からの消費税10%中止を求める請願の提出に同席する斉藤県議（3月14日）

「10月からの消費税の10%中止を求める」請願は、自民党・公明党・いわて県民クラブ・創成いわて・改革若手の一部・無所属議員の反対で不採択となりました。会派共同提案の意見書では、「統計調査の不適切な取扱いにかかる問題の真相究明と行政の信頼回復を求める」意見書が全会一致で採択されました（盛岡選挙区

日本共産党演説会

○5月26日（日）午後2時～
○盛岡市・都南文化会館（大ホール）
【弁士】
・紙 智子 参議院議員
・斉藤 信 県議会議員
・盛岡市議団
（庄子春治、高橋和夫、神部伸也、鈴木努、三田村亜美子）




県民と心ひとつに
日本共産党
斉藤 信の
県政報告

2019年4月 No. 164
発行：日本共産党岩手県議団事務局

斉藤信事務所 TEL. 019(651)1241
〒020-0015 盛岡市本町通2-10-6

日本共産党控室 TEL. 019(629)6050
〒020-0023 盛岡市内丸10-1

選出議員の賛否一覽は裏面に掲載。

斉藤信のホームページ
<http://www.saito-shin.sakura.ne.jp>

横沢たかのりさんと出会う市民のつどい



4月7日、参院岩手選挙区勝利へ、野党の共闘を呼びかける「いわて市民ネット」は、盛岡市で野党統一予定候補の横沢たかのりさん(元パラリンピック選手)を迎えたつどいを開きました。

児童虐待相談—29年度は最多の1088件

平成29年度における児童相談所への虐待相談は1088件と過去最高に。児童福祉司が増員されているものの、1人当たりの相談件数が70ケースとなっており大幅増員を求めました。

子どもの生活実態調査で深刻な実態浮き彫り

県が実施した子どもの生活実態調査(速報値)が公表され、「経済的な理由で医療機関の受診をすることができなかった」が全体で4.4%(1954)、就学援助世帯では6.5%(1025)、「税金の支払いが滞った」が全体で4.6%(2029)、就学援助世帯では7.4%(1165)、「新しい衣服や靴を買うことができなかった」は全体で9.6%(4247)、就学援助世帯で12.1%(1915)と深刻な実態が明らかになりました。

無料法律相談

◇弁護士が相談に応じます◇

- ・5月8日(水)午後6時
 - ・6月12日(水)午後6時
- 予約電話番号: 651-5881

無料生活相談

毎週土曜 10時~12時
場所: 斉藤信事務所

医師・看護師の抜本的増員と待遇改善を



予算特別委員会・医療局審査で質疑に立つ斉藤県議(3月12日)

県立病院の2018年度までの経営計画では、年度末までに109人の医師増員計画でしたが、実績は奨学生養成医師40人の配置がありながら、増員どころか3名の減となりました。新年度から新しい経営計画では6年間、81人の医師増員計画となっており、岩手医大への派遣要請を含め特別の対策を講じるよう求めました。看護師の増員計画の実績は、130人の増員計画に対し118人の増員にとどまりました。一方で9日夜勤は第3四半期までに537件発生し、110人の普通退職者(中途退職)を出しました。それにもかかわらず、新しい経営計画では6年間でわずか66人の増員計画となっており、大幅増員に見直すよう求めました。



商工文教委員会で質疑に立つ斉藤県議

平成29年度の教職員の超過勤務の実態は、人事委員会の調査で、月100時間超が668人、うち産業界の面接指導を受けた人数はゼロとなっています。新年度からは、80時間以上の超過勤務者は産業界の面接指導が義務化されます。業務を増やし競争を激化させている全国学力テストと県の学習状況調査の中止を求めました。高橋教育長は、県の学習状況調査について「他県の状況も参考にしつつ教職員の働き方改革の観点も踏まえ、今後の方向性を検討していきたい」と答えました。全国では17道府県が実施しており、うち6県が30年度から休止しています。

年休取得5日未満が30%、看護師でも23%

県立病院の実質消費税負担額は265億円余

県立病院の消費税負担額は累計で総額605億円、実質消費税負担額は265億円となっています。そのうち一般会計からの補てん額は79億円、県医療局の負担額累計は186億円余となっています。10%増税となった場合、さらに1億9千万円の負担増となります。

35人学級—小中学校の全学年で実施

全国学力テスト・県の学習状況調査は中止を

新年度から35人学級が小中学校の全学年で実施されることになりました。

県立病院の消費税負担額は累計で総額605億円、実質消費税負担額は265億円となっています。そのうち一般会計からの補てん額は79億円、県医療局の負担額累計は186億円余となっています。10%増税となった場合、さらに1億9千万円の負担増となります。

2月県議会に提出された主な請願・意見書に対する盛岡選挙区選出県議の態度 (賛成:○ 反対:×)

案件	斉藤 信 (日本共産党)	高橋 但馬 (改革岩手)	軽石 義則 (改革岩手)	阿部 盛重 (改革岩手)	小西 和子 (社民党)	福井 誠司 (自民党)	小野寺 好 (公明党)	千葉 絢子 (県民クラブ)	吉田 敬子 (無所属)	樋下 正信 (無所属)
沖縄県民投票の結果を踏まえ、辺野古埋め立て工事の中止を求める請願・意見書	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×
2019年10月からの消費税10%増税の中止を求める請願	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×
主要農作物の種子生産にかかる県条例の制定を求める請願・意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める請願・意見書	○	×	×	○	○	×	○	○	○	×

斉藤信のパワフル活動日誌

- 【2月】
 - 13日 2月県議会開会(3月25日)
 - 15日 第14回野党共闘調整委員会(県商工会連合会・インクルいわてを訪問)
 - 16日 県医務中央委員会
 - 17日 矢野町日本共産党新春のつどい
 - 18日 第15回野党共闘調整委員会(共産・自由・社民の3党で横澤高徳氏を野党統一候補と決めることを確認)
 - 19日 小池書記局長・岩瀬友参院議員とともに復興状況調査(達達知事・佐々木復興局長・戸羽陸前高田市長・戸田大船渡市長・岩井陸前高田商工会副会長等と懇談)
 - 20日 本会議代表質問、緑ヶ丘グループ組合員センターでつどい
 - 21日 22日 本会議(一般質問)
 - 23日 城東地区9条の会
 - 24日 本会議(高田一郎県議が一般質問)
 - 25日 本会議(一般質問、議案質疑に立つ)
 - 26日 商工文教委員会
 - 27日 議運で教育長人事案件について質疑、本会議
- 【3月】
 - 1日 次期総合計画特別委員会総括質疑、斉藤県議が質問
 - 2日 脱パワハラ時代のスポーツ環境を考える集い
 - 4日 次期総合計画特別委員会総局長質疑、斉藤県議が質問、取りまとめ、全会一致で採択
 - 5日 6日 予算特別委員会総括質疑、千田美津子県議が質問
 - 6日 7日 予算特別委員会総局長質疑、さよなら原発岩手県民集会
 - 11日 東日本大震災津波県久慈市合同追悼式、穀田恵二国対委員長を迎えての国会報告会(盛岡・久慈)
 - 17日 野党統一候補横澤高徳氏の出馬会見と3党の確約書、政策協定の調印、予算特別委員会・県土整備部審査、取りまとめ、全会一致で採択
 - 19日 20日 商工文教委員会(観光基本計画、中小企業振興第2期計画、教育振興計画、特別支援教育プラン、スポーツ基本計画を審議)
 - 21日 気仙沼市震災復興祈念館・遺構気仙沼向洋高校を見学
 - 22日 復興特別委員会
 - 23日 斉藤県議を励ます岩手大学同窓有志の会、女性のつどい
 - 24日 東日本大震災津波から8年のつどい(大船渡市)
 - 25日 最終本会議(いわて県民計画、新年度予算を全会一致で採択、県政三者懇談会)
 - 26日 三陸防災復興プロジェクト第3回実行委員会
 - 30日 三陸鉄道全線開通応援フォーラム
 - 【4月】
 - 5日 いわて盛岡マナーマラソンプロジェクト発表会・交流会
 - 7日 矢野町日本共産党講演会、城東地区9条の会